

個々の症例に応じた適切な治療を提供し、
排尿に関するの悩みにも対応します。

治療方針

▶ 尿路生殖器の癌

副腎癌、腎癌、腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、
前立腺癌、精巣癌など

前立腺癌治療には、
密封小線源治療（ブラ
キテラピー）を中心に外
照射やホルモン療法を
組み合わせて治療効果
高めるようにしていま
す。高齢者に対しては負担の少ないホルモ
ン療法も行っています。



腎癌には、小切開による低侵襲手術や分子
標的薬治療を行っています。膀胱癌には内視
鏡手術を基本とし、膀胱全摘術だけでなく、放
射線照射と化学療法を併用して膀胱温存を選
択することもできます。

▶ 結石

腎結石、尿管結石、膀胱結石など

尿路結石に対しては軟性尿管鏡を用いた TUL
(f-TUL)、経皮的腎結石破碎術 (PNL)、
ESWL の3方法で加療を行っています。

▶ 尿路生殖器の感染症

腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎、精
巣上体炎など

▶ 泌尿器内分泌疾患

副腎腫瘍、クッシング症候群、原発性アルド
ステロン症、男性更年期など

副腎腫瘍に対しては、小切開による副腎摘出
術を施行しています。

男性更年期障害 (LOH 症候群) に対する診
療も行っています。(※自費診療です)

▶ その他疾患

神経因性膀胱、尿失禁、前立腺肥大症など

前立腺肥大症に対しては、ホルミウムレー
ザー治療装置を駆使した経尿道的ホルミウム
レーザー前立腺核出術 (HoLEP) を施行してい
ます。高齢者や状態の悪い方には、浸襲の少
ない尿道ステント治療を行っています。

また男女を問わず排尿に関するの悩みは、神
経泌尿科の排尿機能障害専門の医師による診
断と治療を行います。

レーザー治療について

前立腺肥大症のレーザー治療：HoLEP（ホルミウムレーザー前立腺核出術）

HoLEP は、内視鏡の先についたレーザーメスで
肥大した前立腺腺腫を安全・確実に切除してい
く手術です。これまで主流であった経尿道的前立
腺切除術 (TURP) よりも出血および術後の疼痛が
少なく、安全に行うことができます。腺腫を確
実に核出できるため再発が少ないという点も優れた
特徴といえます。

腎・尿管結石に対する軟性尿管鏡を用いたレーザー治療：f-TUL（経尿道的結石破碎術）

尿路結石（腎・尿管）の治療には体外衝撃波
で破碎する方法 (ESWL) と尿管鏡を用いて破碎
する方法 (TUL) があります。

ESWL はレントゲンで見ながら結石に衝撃波を当
てることで結石を破碎する方法です。これは複数
回かかることもあります。日帰りでも施行でき
るという長所があります。TUL は入院し麻酔をかけた
状態で尿管鏡を挿入して、結石をモニターで見
ながら破碎する方法です。これは4～5日間の入
院期間を要しますが、直接見ながら碎石を行え、
また同時に破碎した結石を直接体外に取り出す
ことができます。尿管鏡や結石を破碎するレー
ザーの進歩により、TUL による結石破碎と摘出の安全
性と確実性は向上しました。特に柔らかい尿管鏡
(軟性尿管鏡) により腎臓内部の結石まで碎石し
摘出できるようになりました (f-TUL)。

担当医師紹介



泌尿器科部長
町田 竜也 (まちだ たつや)

日本泌尿器科学会専門医・指導医



神経泌尿科部長
大矢 和宏 (おおや かずひろ)

日本泌尿器科学会専門医・指導医
超音波専門医・指導医
医師緩和ケア研修会修了
医学博士